

夏期デイケアを終えて

境沢 彩

今年度、初めて夏期デイケアを担当させて頂きました。初めて会う利用者が殆どであり、アルバイトスタッフで参加してくださる方達とも勿論、初対面でした。私は、現在は入所で働いていますが、利用者と同じく関わり一緒にいる時間を重ねることで、利用者の楽しみを知ることができた。また、私は元々、初めて会う人や短い時間の中の付き合い合いというのは得意ではありません。1ヶ月という短い期間で、夏期デイに来られる皆さんとどれだけ楽しい時間が作れるのか、少し不安を抱えて8月を迎えました。アルバイトスタッフは、初めて参加される学生や一般の方も多くいましたが、積極的に声を掛け利用者の好きなことを見つけてようとしていました。緊張した面持ちで来た利用者も、帰る頃には沢山の声がかかれ、生き生きとした表情に変わっていました。

夏期デイケアでは、エアトランポリンやボールスライダ、水遊び、カラーシート、大型絵本、音遊びなどを行い

ました。ボールスライダーでは、沢山の小さなボールの上に敷いたダンボール板に、それぞれの利用者に合った姿勢で乗りゆっくり滑らせて遊びます。始めは緊張し、けんそうな表情をしていた利用者も2回目以降には、表情が緩み声を出したり手足を動かしたり滑る動きの楽しさを感じている様子でした。また、カラーシートでも、宙に舞い近づいてくるカラフルなシートに手を伸ばしたり心地良い風を感じて楽しんでる様子でした。利用者の嬉しそうなお返事を沢山見ることができ、私も自然と笑顔になりました。帰りの際に、そのことをご父兄にお話しすると、同じように感じていただけたようで、嬉しく思いました。



長い時間の付き合いから生まれる楽しさもあれば、短い時間だからこそ、後になり感じる、心に残るような楽しさがあるのかもしれない。利用者も、それに似たような気持ちを抱いてくれたら嬉しく思います。お互いの距離が縮まるのは、時間だけではなく向き合い一緒に楽しもうとする素直な心のように感じました。夏期デイケアに参加し、利用者やアルバイトスタッフの皆さんと出会うことができ良かったと思います。また会えることを楽しみにしています。



苦情解決委員会より

2013年4月～6月
苦情はありませんでした

前号にて掲載の内容は、1月から3月の誤りでした。
訂正の上お詫び申し上げます。

	7月	8月
ショートステイ利用者数(延べ利用日数)	98名(493日)	112名(562日)
日中一時支援利用者数(延べ利用日数)	3名(10日)	54名(274日)
ボランティア参加人数(グループ数)	19名(7グループ)	0名(0グループ)
実習者数(グループ数)	0名(0グループ)	7名(3グループ)

異動職員紹介

●植平 結衣

4月よりリハビリテーション部に配属になりました理学療法士の植平結衣です。以前は、浜松市リハビリテーション病院に勤務し成人のリハビリを担当していました。

学生の頃から小児に関わりハビリがしたいと思っていたので、おそらへの異動はとても嬉しかったです。

小児領域のリハビリに関しては、分からないことも多くまだまだ未熟ではありますが、より良いリハビリが提供できるように精一杯頑張りたいと思います。宜しくお願い致します。

ガスパワー発電機 (HONDAエネポ)を頂きました

7月30日(火) 本田技研労働組合浜松支部様より聖隷おそら療育センターへガスパワー発電機(HONDAエネポ)を寄贈していただきました。

聖隷おそら療育センターでは、人工呼吸器等の医療機器を必要とする方が多く生活されており、万が一の災害に備え、誰でも簡単に操作できそうな発電機は大変助かります。今回、本田技研労働組合浜松支部様からの寄贈の申し出には、市内の複数福祉施設が手を上げられたことですが、私たちの施設状況をご覧になり、理解いただき、組合員の皆様からの貴重な善意を頂戴できました。感謝申し上げます。